

# 31年2月「学校評価」生徒・保護者・教職員アンケート 集計結果

2月に行った「学校評価」アンケートの集計ができましたのでお知らせします。今年度より、生徒・保護者・教職員それぞれに、同じテーマについての質問をしてそれらを比べるという形をとっています。集計については、

よくあてはまる…4点、 だいたいあてはまる…3点、  
あまりあてはまらない…2点、 全然あてはまらない…1点、 わからない…0点  
として点数化し、その平均をとりました。したがって、肯定的回答が多い場合は3点以上、それより低い場合は否定的回答が多かったことになります。

有効回答数 ; 生徒 345通(90. 8%) 保護者 156通(41. 1%) 教職員 17通(50. 0%)

	生活面						
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
生徒 アンケート 設問	て自分 から進 んで「あ いさつ」 ができ	組学校 での行 事には いつも 真剣に 取り	り他の 人に嫌 がるこ とを言 ったり した	き授業 に遅れ たり忘 れ物を しっか りする	友だち を大切 にする 気持ち がある	と委員 会の係 活動な どをさ ぼらず にきち んや	家族と よく話 をする 方であ る
全体	3.30	3.35	2.85	3.08	3.65	3.56	3.18

	生活面						
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
保護者 アンケート 設問	てつわ いが する よう に自 分か ら進 んで 「あ いさ つ」 をし	るわ が子 が励 まし たり 行事 に真 剣に 取り 組め	てわ が子 が人 の嫌 がる こと を言 うた りし	るわ が子 が学 習の 準備 をし っか りで き	握わ が子 がそ の仲 良く をし てい る友 だち を把	把わ が子 の学 校に 心が けを い で る だ け	心わ が子 と話 する 機 会を 持 て る よ う
全体	3.28	3.19	3.22	2.90	3.11	3.14	3.34

	生活面						
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
教職員 アンケート 設問	いす る生 徒が 自分 から 進ん で「あ いさ つ」 をし	る徒 が学 校で の行 事の 意味 や良 さを 話 して い	導た し生 徒が 人の 嫌が るこ とを 見 逃さ ずし っか り指 し	し学 習の 準備 がよ うき 指 導し ない 生徒 に 対	導関 わり の仲 間や 先輩 ・後 輩な どい つも	気学 持級 の係 や委 員会 活動 など 前向 きな	よ何 うに 心 が雑 談の 中 で家 族の 話を 聞 く
職員全体	3.53	3.29	3.29	3.47	3.41	3.24	3.06

## 生活面に関する結果について

肯定的回答の指標となる 3. 00 をもとにして回答傾向を考えることにする。

生徒による回答について、③を除くすべての項目で、肯定的回答傾向を示す 3. 00 以上であることから、生徒の自己評価では生活面での問題点は少ないと言える。しかしながら、  
『③他の人に嫌がることを言ったり、したりしてしまうことはない』では3点を下回る一方、

『⑤友だちを大切にする気持ちがある』については、肯定的回答の割合が最も高くなっている。これは、日頃は友達など周囲の人を大切に使用する気持ちはあるが、ちょっとしたことで、人の嫌がることを言ったりしたりしてしまうことがある、ということか。

2番目に肯定的回答の割合が高い項目は、  
『⑥学級の係(掃除当番や日直など)や委員会活動などをさぼらずにきちんとしている』であった。反対に2番目に低かったのは、  
『④授業に遅れたり忘れ物をしたりすることなく学習の準備はしっかりできている』であった。これは、委員会や係の活動は比較的できているが、学習に向かう姿勢にやや課題が見られるといえる。

保護者による回答については、おおむね 3. 00 以上の結果であったが、唯一  
『④わが子が学習の準備をしっかりとできるように働きかけている』

について、3. 00 を下回っていた。この項目は生徒の回答でも課題であるので、学校での働きかけと共に家庭でも是非お願いしたい点である。

逆に、肯定的割合の高いのは、『⑦わが子と話をする機会を持てるよう心がけている』や『①わが子が自分から進んで「あいさつ」するように家でもあいさつしている』『③わが子が人の嫌がることを言ったりしたりしたら、じっくり諭すようにしている』の3つであった。保護者の姿勢のうかがえる結果であると言える。

	学習面						
	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
生徒アンケート設問	授業中は先生やクラスの人と話をする	授業中に各自が課題に取り組み、先生やクラスの人と話をしている	授業中に各自が課題に取り組み、先生やクラスの人と話をしている	授業中に各自が課題に取り組み、先生やクラスの人と話をしている	授業中に各自が課題に取り組み、先生やクラスの人と話をしている	授業中に各自が課題に取り組み、先生やクラスの人と話をしている	授業中に各自が課題に取り組み、先生やクラスの人と話をしている
全体	3.30	3.20	2.89	3.16	2.83	2.10	2.69

	学習面						
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
保護者アンケート設問	授業中に先生や他の人の話をきいている	授業中に先生や他の人の話をきいている	授業中に先生や他の人の話をきいている	授業中に先生や他の人の話をきいている	授業中に先生や他の人の話をきいている	授業中に先生や他の人の話をきいている	授業中に先生や他の人の話をきいている
全体	2.94	2.81	2.51	2.29	2.81	2.73	3.01

	学習面						
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
教職員アンケート設問	授業中に先生や他の人の話をきいている	授業中に先生や他の人の話をきいている	授業中に先生や他の人の話をきいている	授業中に先生や他の人の話をきいている	授業中に先生や他の人の話をきいている	授業中に先生や他の人の話をきいている	授業中に先生や他の人の話をきいている
職員全体	3.65	3.63	3.25	3.19	3.24	3.06	3.19

## 学習面に関する結果について

肯定的回答の指標となる 3.00 をもとにして回答傾向を考えることにする。

生徒の回答について最も大きな課題と言えるのは、『⑬家庭でのゲームやSNSをする時間を決めていっている』という項目である。本校の実態として、ケータイ・スマホの所持についての割合は、これまでのアンケート調査をみると男女いずれの学年も全市平均より5ポイント程度高く、早くから多くの生徒が使用していることが分かっている。その割には、使用についてのルールづくりができていないように思われる。同様のことが、保護者の⑬の回答からも見て取れる。

学校においても、「ケータイ教室」をはじめ情報端末機器をめぐる依存性や危険性を学習しているが、依然としてそれらにまつわるトラブル等が発生している。話し合い活動への積極的な姿勢や家庭での自主学習、テスト等に向けた計画的な学習等、他にも課題は見られるが、特に上記の情報端末機器をめぐる課題については、今一度重要視して考えていく必要があると言える。

保護者の回答結果では、学習面の7項目のほぼすべてについて 3.00 を下回るという結果になった。特に「朝学習」「終学習」については家庭で話題にあがることが少ないためと思われるが、他の項目についても、わが子への働きかけをお願いしたいと考える。

ただ、自由記述欄にあった意見で「わが子に自主的に学習に取り組んでほしい」といった願いも書かれており、学校としても生徒自らが学習に取り組む姿勢を育てなければならぬと感じている。

## 全体を通して

学習面での課題『⑬家庭でのゲームやSNSをする時間を決めていっている』は、家庭での約束事をつくって守るということを考えると生活面であるとも言えるが、いずれにせよ便利な道具を使うのではなく使われているという状態があるとすれば、改善していかなければいけない。

また、自学自習のできる生徒を育てるための取組を、家庭の協力を得ながら学校として一層進めていく必要が感じられる結果となった。

以上の結果を踏まえ、次年度の学校教育活動に生かしていきたい。